発行所
松代町公民館
館長　富沢清次
東京編集部　松代町
電話（松代）3番
印刷所
松代印刷所

社会教育委員設置

定数は十五名

委任は六月上旬に

四月二十五日臨校長）三名、二号委員（町時町議会で委員会に事務所を有する社会教育付託となった社会関係団体において選挙その教育委員設置条例他の方法により推せんされは、五月十一日厚た当該団体の長）七名、三生文教委員会で審号委員（学識経験者）五名議決定、十八日開計十五名であり職務は次の催された臨時議会通り規定されております。で議決四月一日に一、社会教育に関する諮計さかのぼり適用さ画を立案すること。れることになります。二、定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、意見を述べることができる。三、前二号の職務の行うために必要な研究調査を行うこと。四、教育委員会の会議に出席して、社会教育に関する意見を述べることができる。五、町の教育委員会から委嘱を受けた、青少年教育に関する特定の事項について、社会教育団体、社会教育指導者その他関係者に対し助言と指導を与えることが出来る。

以上助言と指導が出来ることになっており、この方面の活躍が期待されます。

松代町社会教育委員設置條例

第一条　松代町教育委員会は社会教育法（昭和二十四年法律第二〇七号）の規定により、松代町社会教育委員を委嘱することができる。

第二条　松代町社会教育委員（以下委員という）の定数は十五名以内とする。

第三条　委員の任期は二年とし欠員生じた場合の任期は前任者の残任期間とする。

第四条　松代町教育委員会は特別の事情があると認めるときは委員の任期中であっても解嘱することができる。

第五条　前各条に定めるものゝほか委員の会議運営等に必要な事項は別に松代町教育委員会規則によって定める。

附則　この条例は公布の日から施行し昭和三十五年四月一日から適用する。

稲つくり・あれこれ

農業講座（その三）

四月二十日前に播種したものがぼつ〳〵田植にかゝ、心配された今年の稲作も今の所順調に進んでいる状況にありますが、順調なスタートを収穫迄持続け全般的には健度いものである。そのために進められる作業の過程に特に意を用いて頂きたい点について記して参考に供し度いと存します。

前年に比して登熟えが遅れ一時はかなり播種がずれ一時はかなり播種がずれるのではないかと心配されましたものゝ、結果的には二、三日のおくれにとゞまり、苗代も改良苗代が九九%以上といった好結果をしめし、発芽率も高く、加えて四月下旬から四月上旬にかけて気温も高めに経過して居り、その事が苗の伸長をうながしている。

所によっては部分的に温障害と思われるものゝ発生も期間中の気温に低目と長期の天気予報から今年の梅雨は早目で期間が長くなる訳なので、活着根付肥は是非に最も大きな障害となる気温低下を、計画的な田植に依り極力延避して頂き度い。田植した苗で一〇アール稲が活着して新しい根の数ル当り四キロが増し、その根が伸びるに程度として適五度C位と云われて居ることから考えても梅雨、そして気温低下と田植如何に不合理であるかと云う事は論をまたないと思われます。

この様な事から田植は一月をあらそう大切な作業となって参りました。殊に感温性の高い品種にあっては発根数と温度との関係が深いので早目に然も気温の高い日に田植えを完了することが肝要です。又新しい根ものです。その為には苗をが出て生育を促がす条件の一つに吸収しやすい状態のチッソ質肥料が根の廻りにのことであるが、折角得られた健苗を本田に於てその能力を充分発揮せしめることこそ収量を増大せしめる近道となる訳なので、根付肥は是非に最も大きな障害となる気温低下を、計画的な田植に依り極力延避して頂き度い。田植した苗で一〇アール稲が活着して新しい根の数ル当り四キロが増し、その根が伸びるに程度として適五度C位と云われて居ることから考えても梅雨、そして気温低下と田植如何に不合理であるかと云う事は論をまたないと思われます。

この様な事から田植は一月をあらそう大切な作業となって参りました。殊に感温性の高い品種にあっては発根数と温度との関係が深いので早目に然も気温の高い日に田植えを完了することが肝要です。又新しい根ものです。その為には苗をが出て生育を促がす条件の一つに吸収しやすい状態のチッソ質肥料が根の廻りに

苗取り

田植

田植後活着迄の間に植え付肥施用量の範囲内で植後四、四日間稍深水管理いたみをきたすことは初期の量に比較してチッソ全量とし保護してやることを忘の生育を遅らせますので絶れてはなりません。一般に対にしないようにしたい若苗即ち苗体中の炭水化物にあります。その為には苗を間追肥を施こしたなら梅雨なり植いたみを生ずるのでが出ないかと考えられますのが肝要です。又新しい根の生育を促がす条件の一つに吸収しやすい状態のあるが、田植終了後本田初チッソ質肥料が根の廻りに

稲の収量確保は先ず穂数の確保し、確保した穂数の重量を増すことに依る事は承知の事と思いますが、のための手段としては栽植密度を増す事が近道となる重要な問題かと存じます。

梅雨の期間中低温に経過することに依り生育の遅れと稲体色のうすれから来るあせった中間追肥を施こす傾向が全般的に見られますがこのことは極めて危険と稲の色が出ないと云う事が追肥をする様な事は絶対避けて下さい。然も此の所中間追肥を施こしたなら梅雨明け後の気温上昇に伴う吸収率増加で過繁茂の状態となり、稲体内に於けるチッソの洪水状態となることが考えられます。徒承知の様に洪水は長くは続かず洪水に対しては十分注意し、低温に経過すると思われる稲体は軟弱気味になるので稲熱病の発生に充分注意して特に特込まぬよう充分に肥を用いて下さい。

六月の衣食住

衣　湿気の多いことは、体温を調節する発汗作用をにぶらせる。幼児にとっては寒暖によってマメ類の抵抗力が大切です。最近ビタミン類を添加した味の素が売り出されていますからどうぞ。

食　そろそろ食欲がおとろえてくる。夏にかけて主婦の腕のふるいどきです。食物の腐敗と中毒に対して十分注意し、栄養の補給は特に気をつけなければならない。蛋白質と脂肪分それにビタミンBなどを必ず摂ってください。

住　入梅前に準備しておきたいことは、水のたまりやすいところには石灰がらをまく、雨ドヨを調べてゴミをとる、屋根の損傷をなおすなど。梅雨期に備えて下さい。

（広報研究より抜すい）

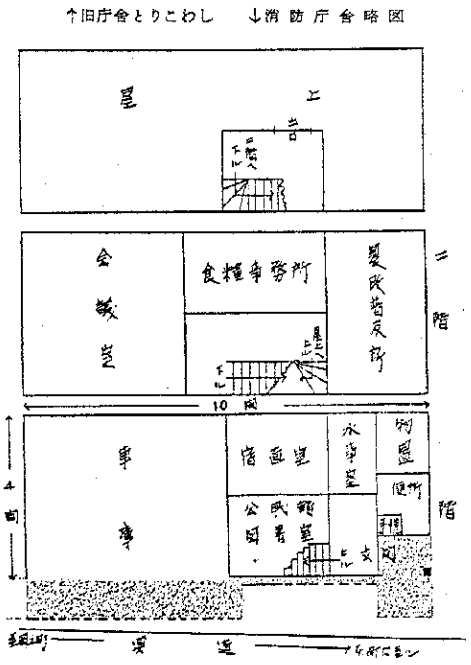
身売りした元役場庶舎

消防庁舎を庁舎に買収され増改築され新設するためたもので（当時の役場は現永年の思い出（祭、現警祭に明治二十二を秘めた元役年の建築）当時の村長は故場庁舎が二十柳俊作、議会の会議録には三万円で蒲生役場庁舎位置変更ニ関の山岸宇吉さスル件んに買取られ五月二十九日より数日にわ字前田二千九十八番地ニ移たりとりこわされました。

この建物は田辺倉庫として本村役場庁舎は明治三十二年ノ建築ニシテ庁舎狭隘ナて大正七年建年十一月役場一部非常ノ場合ニ際シ遺憾ノ廃ナキヲ保シ難フニ付前記ノ地番ニ建設シアル田辺倉庫ヲ購入シ庁舎ヲ移転セントスとあり買収価格は六千九拾二円である。以来増改築内部の模様替え等が行われ、昭和二十四年秋現在の庁舎に移転するまで二十九年間その後十年間公民館の図書には消防庁舎が建築されあるときは住宅と自治行政部の機構替え等が行われ、四拾壱万円で大島村の民汀組が建設することに決定しています。建物の内部は次の略図のとおりで秋になれば近代設備のモダン庁舎がみられます。

理由

一、本村役場庁舎位置ヲ東頸城郡松代村大字松代地内字前田二千九十八番地ニ移転セントス



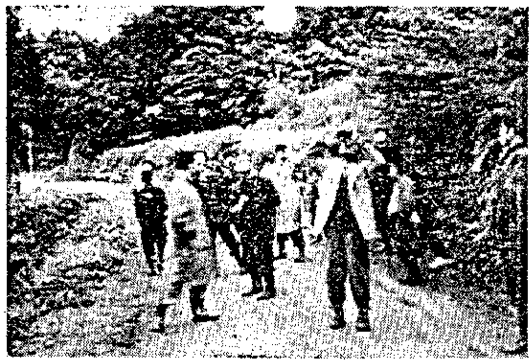
あとにたゝる

消防庁舎は

とりこわしのすんだあと

大自然に野鳥をたずねて

四十余種を確認　―探鳥会―



（探鳥会）

松代愛鳥クラブ結成一周年を記念して第一回探鳥会が五月二十三日早朝山平地区野鳥棲息地で行なわれました。前夜松代小学校で元高田営林所竹内技師の講演があり、中学生高校野鳥研究部をはじめ教職員諸官庁一般者の人々が約六十人参加し数時間にわたる野鳥についての新知識を得て合宿、翌朝モヤにつつまれ足もとの暗い道を山平地区を目ざして出発しました。前日の雨もからりと晴れ絶好の探鳥会です。朝霧は大津波のように山の間より私達におゝいかゝり、人の吐く息は白く見える。山の朝は全く早く小鳥たちはアチコチにさえずりはじめました。ホトトギス、ヨタカ、キジバトホオジロ、ノジコキビタキ等、野鳥固有の名調子が聞えてきます。

小鳥の判定も夜明けと共に明確となり、愈々小鳥の宝庫といわれる蒲生地内に近づきました。杉、ブナナラ、唐松林が続きます。オオルリ、クロツグミ、四十雀、アオゲラ、コゲラ、ホホジロ、ハシホソカラス等の声はまるで野鳥の音楽隊のようで判定はなか〳〵困難でした　午前五時霊峰米山が朝日に映える頃日本三名鳥といわれるウグイスがなき、アカショウビン（一名水鳥）の玉をころがすような美声に皆の足を止めさせました。キセキレイ、セグロセキレイ、エナガ、センダイムシクイなどわがものがおに枝から枝へとさえずりまわります、三光鳥（日本三名鳥の一）はまだ確認できぬうちに第一休けい予定の蒲生小学校に着きました。

お茶をのみながらの竹内先生の話しでは野鳥棲息には最良の地であり野鳥の種類と数は抜群だとのことです。ふたゝび出発小池地内に入りました。「しめた」と誰やらさけびました。それは三光鳥を確認することができたからです。四十余種の野鳥を確認して時刻も七時を過ぎるころ小鳥たちも朝食でしょう、だん〳〵なき声も小さくなってゆきます。

早朝三時から約五時間行程十粁にわたる探鳥会は、多数の参加を得て盛大であり、好成績であったことを喜ぶとともに全町の皆様方に野鳥の愛護をお願いいたします。（松代愛鳥クラブ・関谷虎三郎）

◎確認された野鳥

※からす科　はしほそからす・かけす・みやまかけす
※むくどり科　むくどり
※すずめ科　すずめ・ほほじろ・あおじ・のじこ・うそ・ほほあか
※せきれい科　きせきれい　せぐろせきれい
※めじろ科　めじろ
※四十雀科　四十雀・山雀　ひがら・えなが
※もず科　もず
※ひよどり科　ひよどり
※ひたき科　三光鳥・きびたき・おおるり
※うぐいす科　せんだいむしくい・おおよしきり・やぶさめ・うぐいす
※つぐみ科　つぐみ・くろつぐみ
※みそさざい科　みそさざい
※つばめ科　つばめ
※ぶっぽうそう科　姿のぶっぽうそう
※よたか科　よたか
※ひすい科　あかしようびん
※きつつき科　あかげら・あおげら
※とけん科　ほととぎす・かっこう・つつどり
※ふくろう科　ふくろう・あおばづく・このはづく
※わしたか科　とび
※くいな科　ひくいな
※がんかも科　まがも
※はと科　きじばと
※きじ科　やまどり

続・タバコあれこれ

関谷甲子夫

四月一日付この紙面に「タバコあれこれ」と書いたことをすっかり忘れて、いつもの如くプカプカ喫みながら話に花を咲かせていたら友人のY君「先生も喫みますね」ときた。「なにそんなでもないさ」と軽く言ったものゝ、自分の前の灰皿には何とだいぶたまっており、自分ながら内心驚き又あきれた。自分で相当喫むせいか先日の拙文には、いさゝか代弁的ではあるがタバコばかりに罪をなすりつけず、都市のバイ煙やアスファルトの粉自動車の排気ガス等に責任を分担させておったが、最近の新聞に時々発表されているものを総合するに、どうもタバコに不利のようだ

私の書いたものが四月一日付で、その前三月末ジュネーブの国連W・H・O（世界保健機構）の七人委員会が、タバコこそ肺癌の増加の元区だという発表をした即ち肺癌が顕著な而もたしかな足どりで増加しつゝあること、どの国においても近い将来に肺癌増加が停止する様な兆候がないことなど一人の異論者もなく結論された。少くともタバコが主要原因で、ガス、ゴミは己にタバコにやられた肺に作用する二次的原因だというのだ。この委員会はイギリスのリチャード・ドル博士を委員長に、ノルウエーフインランド、ソ連、アメリカ（2名）の各学者、それに日本の東北大学瀬木三雄博士で構成されているもので昨年十一月頃から資料を持ちより検討した結論発表である。権威ある国際機関の結論だけに、我々タバコ党には非常に痛いところだ。而も私の云うフイルターも真向上段打ち破られ、言うところによれば、タバコの煙の中の微量の発癌性物質をとりのぞくことは誠に困難とされている。しかし近い将来には必ずや私共が安心して喫める、セイフアーシガレット（より安全な煙草）の登場もまんざら夢ではないことゝ思う。

あれこれ、タバコ党に耳痛いことばかりで誠に恐縮でありますが、かくいう私は煙草を止める意志もなければ、又そんなに恐れてもいない。医者の不養生といわれゝばそれまでゝある。日本のガン研究の大家である田崎勇三、中原和郎、吉田富三先生などもやめられたとは聞かない。しかも結構パイプや葉巻をくゆらせながら、タバコ弁護的見解を表明しておられる。又日本ばかりではなく、アメリカのタバコ肺癌説の元祖みたいな顔をしているウインダー博士も「一日に二十本位は大丈夫さ」といっておられるとか、或る新聞に書いてあった。

さて、では禁煙、仲々大変である。専売公社とケンカした気でないと出来ない相談だ。之につき又面白い話が或る本にのっていたのでその概要を紹介する。「授乳期が短い人ほどタバコはやめられぬ」という題で書かれていた。タバコをやめる力は、その人が母親の胸で何ケ月授乳されたかという、授乳の月の数に比例するというのである。之はアメリカのハーバード大学保健部が、卒業生二百五十二名について十五年間、あとを追って調べたものゝ一部で、それによると、タバコをやめることの出来る軽度の喫煙者は平均八ケ月で離乳、同じく強度の喫煙者は六ケ月で離乳、最も強い喫煙者でやめようと試みたことのない者は五ケ月で離乳、同じくやめようとしたが全然駄目の者は四・七ケ月で難乳したという結論が出たという。又哺乳ビンで育てられた者（人工栄養児）は非常にタバコをやめにくい、ともつけ加えている。学者は「之はクチビルの感触に対する根源的な愛着ではないか」といっているそうだが、どんなものだろうか。いずれにせよ私はやめられない。風邪をひいても、タンの切れこそよくなれ、やめることが出来ない。考えてみれば、私は人工栄養児であった。

（筆者は医師）

閑居迷談

菖蒲湯

渋海老人

一年中で一番好きな季節と問われたら俺は五月と答える。木の芽は張りきれ土の脅はうるい溢れ、天の色はあたゝかみと輝きを増し物に生長と活動とを促し合するような勢を示してくる爽快な季節だ。

新緑の間に鯉幟のはためく、日の光に矢車のきらめく、俺も古箪笥から鯉幟を出して二人の子供に立ててやった。只今年は新暦で祝ったのでのきの菖蒲も見ず菖蒲湯のすが〳〵しい香りにひたることも出来んのが遺憾であった。菖蒲はまだほんの角の様な芽を出したばかりだったから。

○

菖蒲湯についてクシロの旅の一夜が思い出される。北海道は何といっても啄木で持ちっきりだが節句の日阿寒に遊んだ。それは昭和二十六年金田一京助先生が友人啄木の為に阿寒湖畔に詩碑を立てられてから幾月も経たぬ二十六年の六月だった。碑面には啄木の

神のごとく遠く姿をあらはせる阿寒の山の雪のあけぼの

という詩が刻まれ、その碑の側に今年六十二才になるという近江順子さんの

啄木もうれしからまし今日の日を阿寒辺地に歌碑の生れて

という詩碑が並べて立てゝある。近江順子さんという異性を知らんので案内の人に聞いたら、これなん若き頃の愛人「小奴」の老の身であった。

小奴といへし女の歌かき耳たぶなども忘れ難かり

という歌は俺も愛誦したものだ。時に彼女は十八才。あゝ啄木はクシロで

さいはての駅に下り立ち雪明り淋しき町に歩み入りにき

とうたっている。どんなに小奴に慰められ又ひきつけられたのであろうか。

○

四十数年を経たクシロの旅館の菖蒲湯にひたり乍ら友と小奴を偲んだ。真新しい菖蒲の葉が心地よく胸のあたりに吸いつくのを払いのけながら。

○

小奴の近江順子はいまクシロの某旅館の女将ということだ。丹前をひっかけさい果ての街をあてどなくたずね歩いたが、途にその旅館の前に出る道がわからなく薫風に吹かれ乍ら新緑の夜を宿へ帰った。

佐渡に於ける尾崎紅葉と小糸、北海道に於ける啄木と小奴。若き詩人と恋、追憶するだにほの〲とした気持になる。

○

芭蕉が奥の細道を辿ったのは「前途三里の思い胸にふさがりて幻のちまた離別の涙をそゝぐ

行春や鳥啼魚の目は涙

是を矢立の初として……」と書き出してあるから元禄二年の暮春だったろう。

笈も太刀も五月にかざれ紙幟

の句を残して白川の関から月の輪の渡しを越えて佐藤庄司が旧趾に出で、義経の太刀弁慶の笈などの什物を見て飯塚にとまったのが元禄二年五月一日だった。

○

「温泉あれば湯に入りて宿をかるに土坐に莚を敷きて怪しき貧家なり、灯もなければいろりの火かげに寝所をもうけて臥す、夜に入りて雷鳴雨しきりに降りて臥る上よりもり蚤蚊にせゝられて眠らず」とある。

○

飯塚の温泉は俺は知らぬが考証家で「恐らく飯塚温泉だろう」という人がある飯塚なら俺も二遍遊んだ。東山温泉に匹敵する豪壮な旅館が立ち並び近代的な設備を誇る繁華な温泉街だ。「奥の細道」時代とあまりに隔たった文化の進展に驚かされる。それから名取川をわたり仙台に入った「あやめふく日也」とあるからこれも五月五日であったと思うが旅館をもとめて四五日逗留している。飯塚温泉ではいろりの傍に眠りもやらず菖蒲湯どころの騒ぎではなかったが仙台の宿では果して芭蕉を菖蒲湯に入れたであろうか。

仙台には画工加右ェ門というものがあって案内してくれ、しかも松島や塩がまの絵を画いて芭蕉におくり、紺の染緒をつけた草鞋二足を餞けている。「さればこそ風流のしれもの、ここに至りて其実を顕す」と云って

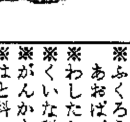
あやめ草足にむすばん草履の緒

と句作しているが、芭蕉の様な風流人が菖蒲湯に入ったのなら一句位必残していたであろう。それのないところを見ると遂に芭蕉はここでも菖蒲湯に入りそこなったのか。

○

さて俺も破れたヒレのふき流しを孫のために樹てたが菖蒲湯には入らないので花壇の菖蒲が二三日の暖かさでグン〳〵伸びたから今宵は菖蒲湯にひたろうと思っている処へ今東光の小説にでも出そうな水のしたゝる様な美しい尼さんが訪れて縁側で語りあっているうちに日も暮れそうになったほとゝぎすが啼く。菖蒲湯は明晩に延ばそう。

（五・二三）



文芸

室野米持　徹心

○漉までもえたつ若葉松学山
○若葉濃し吾手のひらのたくましき
○あちこちに畔塗る人の鍬上る
○藻の花の揺れ静かなり溜薄暑
○風少し木蓮太き蕾とく